

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-332418

(43) 公開日 平成11年(1999)12月7日

(51) IntCl.⁵

A 01 K 85/00

識別記号

F I

A 01 K 85/00

B

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平10-140777

(22) 出願日 平成10年(1998)5月22日

(71) 出願人 000155757

株式会社デュエル

佐賀県武雄市橘町大字大日2111

(72) 発明者 北川 安洋

佐賀県武雄市橘町大字大日2111 株式会社
デュエル内

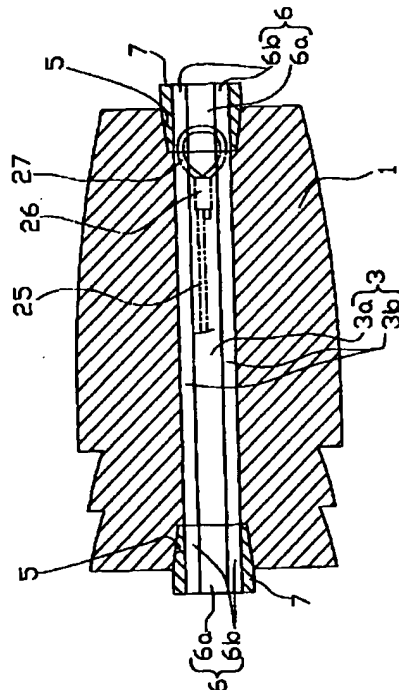
(74) 代理人 弁理士 藤本 昇 (外1名)

(54) 【発明の名称】 疑似餌

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、複数の紐状体からなるスカートを具備し且つヘッドにハリスを挿通することにより使用される疑似餌に関し、ハリスを切断又はハリスの連結部等を除去せずに、ハリスをヘッドから外すことができる疑似餌を提供することを課題とする。

【解決手段】 ハリス25を挿通する挿通孔3が穿設されたヘッド1と、該ヘッド1に取付られたスカートとを具備する疑似餌に於いて、前記挿通孔3が、ハリス25に設けられた連結部27を挿通可能に形成されていることを解決手段とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ハリス(25)を挿通する挿通孔(3)が穿設されたヘッド(1)と、該ヘッド(1)に取付られたスカート(4)とを具備する疑似餌に於いて、前記挿通孔(3)が、ハリス(25)に設けられた連結部(27)を挿通可能に形成されていることを特徴とする疑似餌。

【請求項2】 前記ヘッド(1)の挿通孔(3)の端部側には、挿通孔(3)に連通する連通孔(6)の穿設されたスペーサー(7)が設けられており、該スペーサー(7)は、ハリス(25)の連結部(27)が挿通可能な連通位置と、ハリス(25)の連結部(27)が挿通不能な非連通位置とに変位可能に設けられている請求項1記載の疑似餌。

【請求項3】 前記ヘッド(1)の挿通孔(3)の端部側には、ハリス(25)が挿通可能で、且つハリス(25)の連結部(27)が挿通不能なハリス挿通孔(11)を有するスペーサー(7)が装着脱可能に取付られている請求項1記載の疑似餌。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば、トローリング等に使用される疑似餌に関し、より具体的には、複数の紐状体からなるスカートを具備し、且つヘッドにハリスを挿通することにより使用される疑似餌に関する。

【0002】

【従来の技術】この種の疑似餌31は、一般的には、図8に示すように、円柱状のヘッド20の後方に複数の紐状体21aからなるスカート21が取付けられて構成されている。尚、かかるスカート21とヘッド20の取付けは、図8に示すように、スカート21をヘッド20にタコ糸等の結束具22で締結することによりスカート21が着脱可能に構成されたものや、実開平4-52467号公報に記載された疑似餌のように、スカート保持具にスカートが保持され、該スカート保持具をヘッド本体に着脱可能に構成されたもの等が知られている。

【0003】上記疑似餌31は、何れも合成樹脂製糸又はワイヤー等からなるハリス25に針24を取付け、且つ該ハリス25をヘッド20に挿通することにより使用される。具体的に説明すると、ヘッド20の前面部から後面部にかけて穿設された挿通孔23に、一端に針24が止着されたハリス25を他端側から挿通した後、ハリス25の他端を折り曲げて重ね合わせ、且つ該重合部分を結節具26を用いて圧着することによりハリス25の他端にリング状の連結部27を形成して仕掛け30を作製する。

【0004】かかる仕掛け30は、針24及び連結部27が、挿通孔23よりも大きい形状であるため、該針24及び連結部27が、ヘッド20の後面及び前面にて抜脱不能に係止され、従って、ヘッド20がハリス25か

ら不用意に外れることはない。そして、ハリス25の連結部27をミチ糸(図示せず)等に連結することにより、仕掛け30はトローリング等の釣りに供するものとなる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、スカート21は、疑似餌31の形態(形状、色彩等)を左右する重要な部分であるため、釣りの途中で交換されることがあるが、ヘッド20についても、疑似餌31の形態(形状、色彩等)のみならず、疑似餌31の重量を左右する重要な部分であるため、海の天候や対象魚等の変更にに応じて交換されることが往々にしてある。

【0006】しかしながら、上記従来の疑似餌31にあっては、ハリス25の針24及び連結部27が、挿通孔23の形状よりも大きいので、ヘッド20をハリス25から取り外す際には、ハリス25の一部分を切断し、又は、ハリス25から針24若しくは連結部27を除去する必要がある。このように、ハリス25を切断し、又は、針24若しくは連結部27を除去すると、交換する疑似餌31を用いて仕掛け30を作製する際に、再度、ハリス25に針24を止着又は連結部27を形成しなければならず、かかる作業が極めて煩雑であるという問題点があった。

【0007】本発明は、上記の如き問題点に鑑みなされたもので、ハリスを切断又はハリスの連結部等を除去せずに、ハリスをヘッドから外すことができ、容易に仕掛けを作ることができる疑似餌を提供することを課題とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決するためになされたものであって、その課題を解決するための手段は、ハリス25を挿通する挿通孔3が穿設されたヘッド1と、該ヘッド1に取付られたスカート4とを具備する疑似餌に於いて、前記挿通孔3が、ハリス25に設けられた連結部27を挿通可能に形成されていることにある。

【0009】ここで、ハリス25とは、合成繊維製糸又はワイヤー等の通常釣りに使用されている釣り糸をいう。また、ハリス25の連結部27とは、ハリスとミチ糸又は釣り針とを接続するためにハリスの端部側に形成され、且つ少なくとも一部に於いてハリスの縦断面形状(断面略円形状となる)よりも肥大化した部分を有する。

【0010】上記疑似餌は、ヘッド1の挿通孔3が、ハリス25の連結部27を挿通可能に形成されているので、連結部27が形成されたままの状態のハリス25をヘッド1に挿通することができる。従って、疑似餌を交換する時に、ハリス25の切断や連結部27の除去等を行わずに、疑似餌(ヘッド1)をハリス25から外すことができる。

【0011】さらに、請求項2記載の手段は、前記ヘッド1の挿通孔3の端部側には、挿通孔3に連通する連通孔6の穿設されたスペーサー7が設けられており、該スペーサー7は、ハリス25の連結部27が挿通可能な連通位置と、ハリス25の連結部27が挿通不能な非連通位置とに変位可能に設けられていることにある。

【0012】かかるスペーサー7がヘッド1に設けられていれば、スペーサー7を非連通位置に変位させることにより、スペーサー7によってハリス25の連結部27が係止され、使用中に、疑似餌が不用意に移動することを防止できる。また、スペーサー7を連通位置に変位させることにより、連結部27が形成されたままの状態のハリス25をヘッド1から外すことができる。

【0013】加えて、請求項3記載の手段は、前記ヘッド1の挿通孔3の端部側には、ハリス25が挿通可能で、且つハリス25の連結部27が挿通不能なハリス挿通孔11を有するスペーサー7が装着脱可能に取付けられていることにある。

【0014】かかるスペーサー7がヘッド1に装着脱可能に取付けられていれば、ヘッド1の挿通孔3にハリス25を挿通後、スペーサー7をヘッド1の挿通孔3に取り付けることにより、スペーサー7によってハリス25の連結部27が係止され、使用中に、疑似餌が不用意に移動することを防止できる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明にかかる疑似餌の実施形態について図面を参照しつつ説明する。

<第1実施形態>図1～図3において、1は、所定形状（例えば、円柱状）に形成されたヘッドを示し、該ヘッド1の後方外周面には、スカート4を取付けるためテーパー状に形成された取付溝2が2段（スカート4の取付本数に対応して）周設されている。尚、該取付溝2には、複数の紐状体4aを束ねて筒状に形成されたスカート4が結束具等を用いて着脱可能に取付けられており、ヘッド1とスカート4によって疑似餌10が構成されている。

【0016】ヘッド1には、その前面部1aから後面部1bにかけてハリスの連結部が挿通可能な挿通孔3が穿設されている。かかる挿通孔3は、ハリスの連結部を挿通することができる形状（大きさ）に形成されている。

【0017】例えば、ハリス25の連結部27が、上記従来の技術で説明したように、ハリス25の他端を折り曲げて重ね合わせ、且つ該重合部分を結節具26を用いて圧着することによりリング状に形成されたものである場合には（図2に於いてもハリス25、結節具26及び連結部27を二点鎖線で示す）、例えば、次に示すような挿通孔3が好適である。

【0018】即ち、挿通孔3は、図2及び図3に示すように、ハリス25の縦断面形状（断面円状）よりも径大で、且つ結節具26が挿通可能な円状部3aと、該円状

部3aの周縁対向位置に外側方向に向かって突出し、且つハリス25の連結部27が水平に挿通可能な突出部3bとから形成されている。

【0019】さらに、ヘッド1の前面部1a及び後面部1bには、挿通孔3に連設された装着穴5がそれぞれ設けられており、各装着穴5の内周面は、内側になるに従って僅かに幅狭となるようにテーパ状に形成されている。

【0020】該装着穴5には、連通孔6を有するスペーサー7が変位可能に設けられている。かかるスペーサー7は、円柱体の軸芯に前記挿通孔3と略同形（円状部6aと突出部6bとからなる）の連通孔6が穿設されており、該円柱体の後方外周面は、装着穴5に嵌合すべくテーパ状に形成されており、且つ該円柱体の前方外周面は、多角形状（例えば、六角形や四角形）とされた摘持部8が形成されている。かかる摘持部8が形成されていることによりスペーサー7を摘み易く、又、回転させ易い。

【0021】スペーサー7は、ヘッド1の装着穴5に圧入嵌合することによりヘッド1に装着脱可能であると共に、軸芯を中心として変位（装着位置を変える）させることができる。

【0022】つまり、スペーサー7は、スペーサー7を変位（回転）させることによって、図4に示すように、その連通孔6がヘッド1の挿通孔3に連通する連通位置（軸芯方向から見て連通孔6と挿通孔3の形状がほぼ合致し、ハリス25の連結部27が連通孔6から挿通孔3へと通過できる位置）と、図5に示すように、その連通孔6がヘッド1の挿通孔3に連通しない非連通位置（軸芯方向から見て連通孔6と挿通孔3の形状が合致せず、ハリス25は連通孔6から挿通孔3へと通過できるが、ハリス25の連結部27は通過できない位置）とに任意に変更することができるようにヘッド1に設けられている。

【0023】上記構成からなる疑似餌10は、ヘッド1の前面部1aに設けられたスペーサー7を連通位置に変位させることにより、ハリス25の連結部27をヘッド1の挿通孔3に挿通し、その後、スペーサー7を非連通位置に変位させることにより仕掛けを作製することができる。かかる疑似餌10は、スペーサー7が非挿通位置に設定されているので、使用中に、疑似餌10が不用意にハリス25の連結部27を通過してミチ糸側に移動しないという利点がある。勿論、ハリス25の一端には、針が止着されているので、使用中に疑似餌10が抜脱することはない。また、上記実施形態のようにヘッド1の後面部1bにスペーサー7が設けられている場合には、ヘッド1の後面部1bに臨出する挿通孔3に針が嵌入する虞がないという利点がある。

【0024】次に、疑似餌10を交換したい時には、スペーサー7を連通位置に変位させることにより、ハリス

10

20

30

40

50

25の切断や連結部27の除去等することなしに、連結部27が形成されたままの状態のハリス25を疑似餌10から外すことができ、交換作業が極めて容易である。

【0025】尚、本実施形態に於いて、スペーサー7は、ヘッド1の装着穴5に圧入嵌合することにより設けられているが、必ずしもスペーサー7はヘッド1に圧入嵌合されている場合に限定されず、例えば、特に図示しないが、ヘッド1の装着穴5の内周面に溝を設け、且つスペーサー7の外周面に該溝内に遊嵌しうる突起を設けて凹凸嵌合させることにより、スペーサー7をヘッド1

10に変位可能に設けてもよく、又、装着穴5の内周面及びスペーサー7の外周面にネジ部を設け、両者を螺合することによりスペーサー7をヘッド1に変位可能に設けてもよい。

【0026】また、本実施形態に於いて、スペーサー7の連通孔6の形状は、ヘッド1の挿通孔3と略同形に形成されているが、必ずしも連通孔6は挿通孔3と略同形に形成されていなければならないわけではない。要は、挿通孔3から連通孔6（又は連通孔6から挿通孔3）へとハリス25の連結部27が挿通可能な挿通位置にある

スペーサー7を変位させることにより、挿通孔3から連通孔6へ挿通不能となるような連通孔6の形状であればよい。

【0027】＜第2実施形態＞本実施形態に於いては、スペーサー7を変位させずにハリス25の連結部27が挿通不能に係止される点で第1実施形態と異なる。以下、図面を参照しつつ説明するが、第1実施形態と重複する説明は省略し、各部の名称及び図番は第1実施形態のものを適宜援用し、本実施形態に示す図面における第1実施形態と同図番で且つ特に説明のないものは、第1

実施形態で説明した構成と同じ構成を説明したものとする。

【0028】図6及び図7に於いて、本実施形態に係るスペーサー7は、ヘッド1に装着脱可能であって、該スペーサー7には、ハリス25が挿通可能で、且つハリス25の連結部27が挿通不能なハリス挿通孔11が設けられている。

【0029】より詳しくは、スペーサー7は、中央部に半円状の凹部12aが形成され、且つヒンジ部12bを介して互いに回動自在に連結された一対の接合体12、12からなる。かかる接合体12、12を密着させることにより凹部12a間にハリス挿通孔11が形成され、接合体12、12を接合した状態でヘッド1の装着穴5に圧入することによりスペーサー7はヘッド1に装着される。尚、装着穴5は、ヘッド1の挿通孔3と略同形状に形成されている。

【0030】上記構成からなる疑似餌10は、スペーサー7を取り外した状態で、ヘッド1の挿通孔3にハリス25の連結部27を挿通し、スペーサー7の接合体12、12を拡げ、該開口部分からスペーサー7をハリス

25に嵌入してスペーサー7の凹部12aにハリス25を位置させると共に、スペーサー7の接合体12、12を密着させ、ハリス25に沿ってスペーサー7を移動させながらヘッド1の装着穴5にスペーサー7を取付ける。

【0031】かかるスペーサー7の装着により、疑似餌10を使用中に、疑似餌10が不用意にハリス25の連結部27を通過してミチ糸側に移動しないという利点がある。

【0032】次に、疑似餌10を交換したい時には、スペーサー7をヘッド1から取り外すことにより、ハリス25の切断や連結部27の除去等することなしに、連結部27が形成されたままの状態のハリス25を疑似餌10から外すことができ、交換作業が極めて容易である。

【0033】尚、本実施形態に於いて、スペーサー7は、ヘッド1の装着穴5に圧入することによって装着されているが、必ずしもスペーサー7は圧入によって装着される場合に限定されず、特に図示しないが、例えば、スペーサー7に凸部を設け、且つ装着穴5に凹部を設けて凹凸嵌合によってスペーサー7が装着されてもよく、又、ネジ作用によってスペーサー7が装着されていてもよい。

【0034】また、本実施形態に於いて、スペーサー7に形成されたハリス挿通孔11は略円状に形成されているが、必ずしもハリス挿通孔11は略円形状に限られない。要は、ハリス25が挿通可能で、且つハリス25の連結部27が挿通不能に形成されていればよい。

【0035】＜他実施形態＞尚、上記各実施形態に於いて、ヘッド1の挿通孔3は、円状部6aと突出部6bとから形成されているが、必ずしも挿通孔3はかかる形状に限定されるものではない。要は、ハリス25の連結部27が挿通可能な形状に形成されていればよいのであって、ハリス25及びハリス25の連結部27の形状によって相対的に決定される。また、スペーサー7の連通孔又はハリス挿通孔11についても同様である。

【0036】さらに、スペーサー7の形状は、上記各実施形態に例示したものに限定されず、適宜設計変更可能であり、又、ヘッド1、スカート4の形状についても同様である。

【0037】

【発明の効果】以上のように、本発明に係る疑似餌によれば、ヘッドの挿通孔が、ハリスの連結部を挿通可能に形成されているので、ハリスに連結部が形成されたままに仕掛けを作製することができる。従って、従来のように、疑似餌を交換して仕掛けを作り直す時に、ハリスの切断又はハリスの連結部の除去等をしなくても仕掛けを作り直すことができ、仕掛けの作製作業が容易に行える。

【0038】さらに、請求項2又は3記載の手段によれば、スペーサーによってハリスの連結部が挿通不能に係

10

20

30

40

50

止されるので、疑似餌を使用中、不用意にハリスの連結部がヘッドの挿通孔まで移動することを防止できるという利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る疑似餌の第1実施形態を示す斜視図。

【図2】同実施形態のヘッドを示す断面図であって、ヘッドの軸芯を含む面で切断した状態を示す（図4、5、7及び8について同じ）。

【図3】（イ）は、図2のA-A線断面図、（ロ）は、図2のB-B線断面図。

【図4】スペーサーが連通位置にある状態を示す断面

図。

【図5】スペーサーが非連通位置にある断面図。

【図6】本発明に係る疑似餌の第2実施形態を示す斜視図。

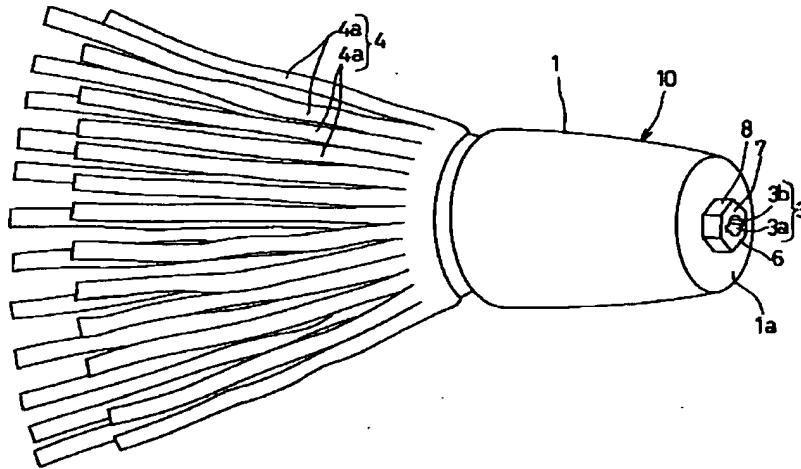
【図7】同実施形態のヘッドを示す断面図。

【図8】従来の疑似餌を示す断面図であって、スカートの一部を省略して表している。

【符号の説明】

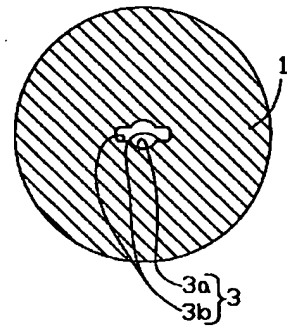
1…ヘッド、3…挿通孔、4…スカート、6…連通孔、7…スペーサー、11…ハリス挿通孔、25…ハリス、27…連結部

【図1】

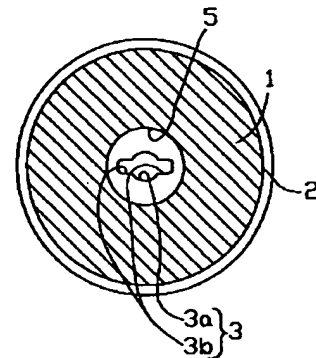


【図3】

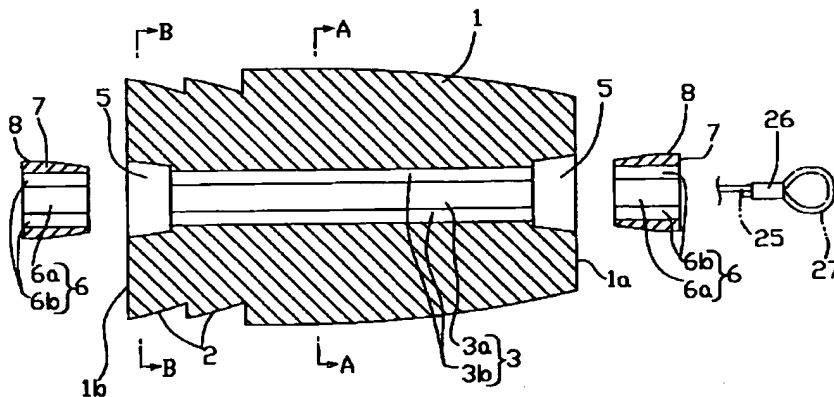
(イ)



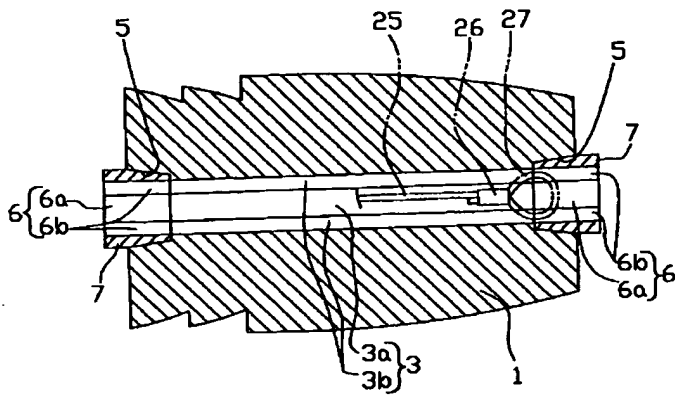
(ロ)



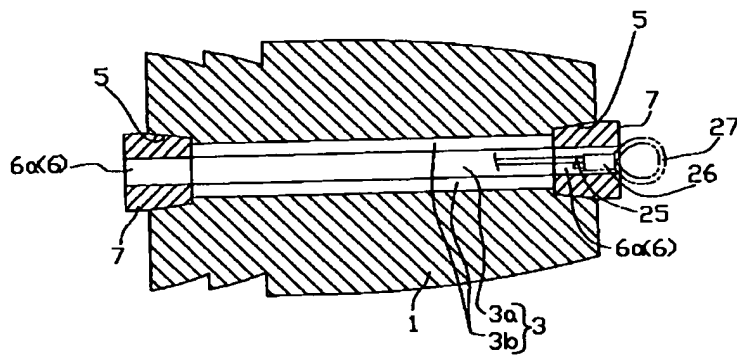
【図2】



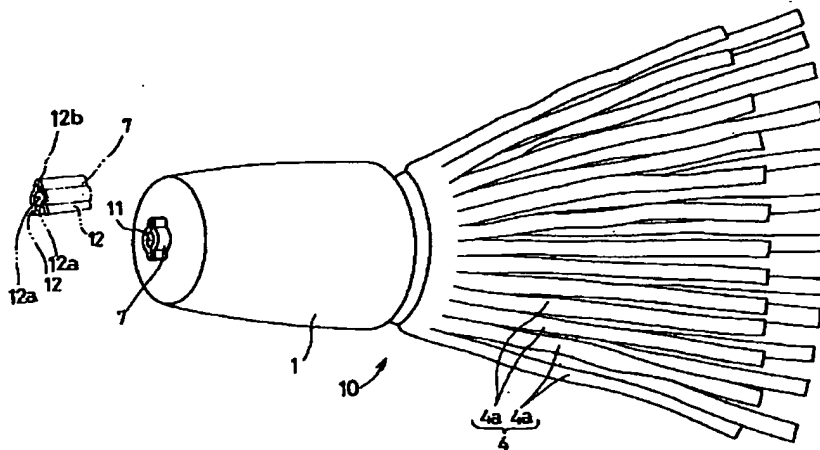
【図4】



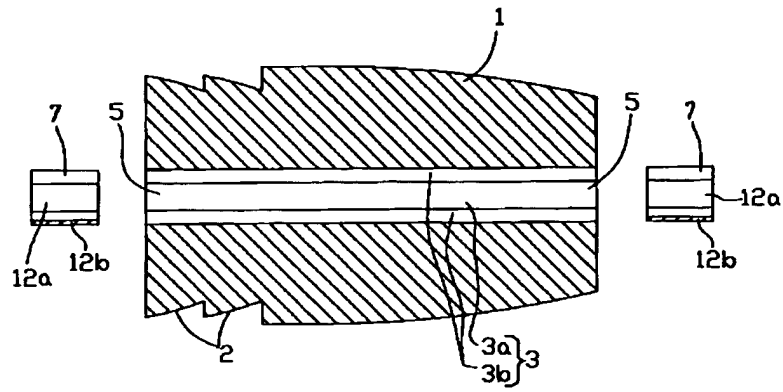
【図5】



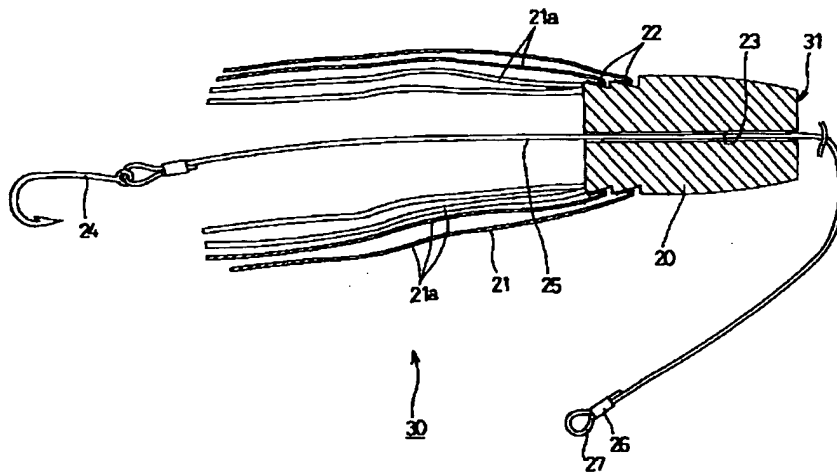
【図6】



【図7】



【図8】



PAT-NO: JP411332418A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11332418 A
TITLE: PLUG
PUBN-DATE: December 7, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KITAGAWA, YASUHIRO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
DEYUERU:KK	N/A

APPL-NO: JP10140777

APPL-DATE: May 22, 1998

INT-CL (IPC): A01K085/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a plug capable of removing a leader from a head without cutting the leader or removing a connecting part of the leader and readily preparing a device by forming inserting hole of the head so that the connecting part of the leader can be inserted.

SOLUTION: This plug is equipped with a head 1 in which an inserting hole 3 for inserting a leader 25 is bored and a skirt attached to the head 1, and the inserting hole 3 is formed so that a connecting part 27 disposed in the leader 25 can be inserted. For example, when the connecting part 27 of the leader is formed in ring-like shape by folding and superposing other end of the leader and pressing the superposed part with a knotting tool 26, the inserting hole 3

is preferably formed of a circular part 3a having diameter larger than vertical cross section shape of the leader 25 and capable of inserting the knotting tool and a protruded part 3b protruded toward the outside direction at a position opposed to the periphery of the circular part 3a and capable of horizontally inserting the connecting part 27 of the leader.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO